

### 第3 指導と評価の計画及び改善

<事例1> 「家族・家庭生活についての課題と実践」における課題設定の工夫を図った事例  
 第6学年「家族や地域のために心をこめて小学校を卒業する私にできること」指導要領との関わり：内容A(4)ア

#### 1 本題材の計画の作成と評価及び改善の考え方

本題材の指導計画の作成に当たっては、「A家族・家庭生活」の(2)又は(3)を学習の基礎とし、「B衣食住の生活」、「C消費生活・環境」で学習した内容との関連を図り、課題を設定できるように留意する。評価計画の作成に当たっては、課題に対し解決できたか否かという結果の評価でなく、課題の設定や計画、実践、評価・改善という一連の学習過程を通して評価する。課題を解決する力と生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養うことができているかを見直し、改善を図る。

#### 2 本時の学習指導と評価及び授業改善

本時の学習指導に当たっては、事前に行っている家庭や地域の観察から日常生活を見直し、課題を設定できるよう配慮する。評価に当たっては、家庭や地域の観察から、問題に気づき、実際の生活に合った課題を設定することや、見方・考え方を働かせテーマを考えるなど、よりよい家庭生活を目指して考えられたかを評価していく。授業の実施後は「問題解決的な学習につながられる課題を設定できているか」や「感謝の気持ちを伝えることや家庭や地域をよりよくすることを目的としたテーマを考えることができているか」について手立て等を見直し、改善を図る。

#### 3 学習指導・評価の実際

- 1 題材名「家族や地域のために心をこめて小学校を卒業する私にできること」内容A(4)ア
- 2 題材について (1) 児童について (2) 題材について (3) 指導について (省略)
- 3 題材の目標
  - (1) 家族や地域の人々との関わりについて日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。  
 (思考力、判断力、表現力等)
  - (2) 家族の一員として、生活をよりよくしようと、家族や地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、家庭や地域などで実践しようとする。  
 (学びに向かう力、人間性等)

P170 指導計画作成の留意事項(7)

#### 4 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	家族や地域の人々との関わりについて日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族の一員として、生活をよりよくしようと、家族や地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、家庭や地域などで実践しようとしている。

※ 『内容のまとまりごとの評価規準(例)』を具体化した例

「4題材の評価規準」を実際の学習活動に即して具体化する必要があることから、『内容のまとまりごとの評価規準(例)』を具体化した例を「事例1」のみ、参考として掲載している。

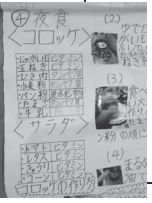
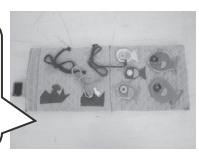
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A(4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族や地域の人々との関わりについて日常生活の中から問題を見いだして、課題を設定している。</li> <li>・家族や地域の人々との関わりについて、実践に向けた計画を考え、工夫している。</li> <li>・家族や地域の人々との関わりについて、実践を評価したり、改善したりしている。</li> <li>・家族や地域の人々との関わりについての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の一員として、生活をよりよくしようと、家族や地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。</li> <li>・家族や地域の人々との関わりについて、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。</li> <li>・家族の一員として家庭や地域の生活をよりよくしようと、生活について工夫し、実践しようとしている。</li> </ul>

家庭科においては、目標の(3)を踏まえ、「生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度」について評価する。

5 題材の指導と評価の計画（5時間扱い）

小 題 材	時 間	○ねらい・学習活動	評価規準・評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
できるだけようになったよ  ありがとう  私にできること	1	○これまでの家庭科の学習を振り返るとともに、家族や地域の人々との関わりについて考え、感謝の気持ちをもつ。 ・これまでの家庭科で学習したことや自分ができるようになったことを振り返る。 ・家族や地域のために自分ができることを考える。	P170 指導計画 作成の留意事項(4)(5)	①家族や地域の人々との関わりについて日常生活の中から問題を見いだし、課題を設定している。 (行動観察・ワークシート)	①家族の一員として、生活をよりよくしようと、家族や地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて自分にできそうなことを考え、主体的に取り組もうとしている。 (行動観察・ポートフォリオ・実践計画表)
	2 (本時)	○家庭や地域を観察した結果から、生活をよりよくするために問題を見いだし、課題を設定する。 ・家庭や地域の様子から、心をこめて自分にできることについて、課題を設定する。			
	3	○家庭や地域での実践計画を立てる。 ・家庭(地域)の仕事ウォッチングの結果から、仕事の手順や方法を自分なりに考える。 ・グループで話し合い、今までの家庭科の学習を生かして工夫できないかを考える。 ・これまでに学習したことを生かした家庭や地域での具体的な実践計画を立てる。(「いつ」「どこで」「どんなことを実践するのか」)	②家族や地域の人々との関わりについて、実践に向けた計画を考え、工夫している。 (実践計画表)	②家族や地域の人々との関わりについて、実践を評価したり、改善したりしている。 (実践計画表・報告書)	
	家庭や地域での実践期間を十分に設ける。			④家族や地域の人々との関わりについての課題解決に向けた一連の活動について考えたことを分かりやすく表現している。(報告書・具体物・発表)	
	4・5	○実践したことを発表する。 ・実践報告会をする。 ・これからの生活に向けて、新たな目標を立てる。	③家族や地域の人々との関わりについて、実践を評価したり、改善したりしている。 (実践計画表・報告書)	③家族の一員として家庭や地域の生活をよりよくしようと、生活について工夫し、実践しようとしている。(報告書・具体物・発表表・ポートフォリオ)	

- ・栄養バランスを考えた一食分の食事
- ・自作の布絵本
- ・Tシャツで作ったエコバッグ



【「家族・家庭生活の課題と実践」の位置付けの例】(2学年間で2つの課題を設定する場合)

<実践その1> 「家族のために 私にできる家庭の仕事」・・・「発見!家族の生活」(A(2)アイ)の学習を基礎とし、題材①から④で学習した内容と関連を図った課題を設定し、第5学年の7～9月の間に実施する。

実施時期	題 材	指導内容 指導項目
4月	① 「ガイダンス」「発見!家族の生活」	A(1)ア、 A(2)アイ
5月	② 「はじめてのクッキング ゆでて食べよう」	B(2)ア(ア)～(エ) イ
6月	③ 「はじめてのソーイング 手ぬいで作ろう」	B(5)ア(ア)(イ)イ
7月	④ 「整理整とんで すっきり快適」	B(6)ア(イ)、C(2)ア
7～9月	⑤ 「家族のために 私にできる家庭の仕事」	A(4)

<実践その2> 「家庭や地域のために 心をこめて 小学校を卒業する私にできること」・・・1月の「地域で共に生きる」(A(3)ア(イ)、イ)の学習を基礎とし、これまで小学校家庭科で学んだ内容を生かして、家庭や地域でできる課題を設定し、第6学年の2～3月の間に実施する。

6 本時の学習指導(本時 2/5)

- 目標
  - ・日常生活の中から問題を見いだし、課題を設定する。(思考力、判断力、表現力等)
- 展開

時間	学習活動	指導上の留意点(・) 評価規準(◇) 【評価の観点】(評価方法) 手立て(→)
10	1 「家族や地域ウォッチング」の報告をする。	「家族や地域ウォッチング」させたい内容(インタビューなど) <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族や地域の人、周りのためにどんな仕事をしているか?</li> <li>・どんな気持ち(願い)で行っているか?</li> <li>・大変そうなもの(苦労しているもの)はないか?</li> <li>・あると便利なもの(楽しいもの)はないか?</li> <li>・自分にもできそうな仕事はどんなことか?</li> </ul> 様々な家庭や地域の仕事を見たり、インタビューしたりできるよう、冬休みなどの長期休業中に設定するとよい。

15	2 本時の学習の見直しをもつ。 ・学習課題の把握	【問題を見いだしている例】 ○父・母は毎日大忙し。最近では家族でゆっくりと話をしていない。 ○小さな妹のおもちゃがいつも散らかっている。 ○隣のおばあちゃんが、朝、近所の掃除をしてくれていることを初めて知った。 ○毎朝、寒くても通学路に立って見守ってくれる地域の方がいる。
	3 グループになりウォッチングから「なにができるか」について考える。 (ペア・グループ)	学習課題 家族や地域のために 心をこめて 小学校を卒業する私にできることは何だろう ・感謝の気持ちを伝えるために「心をこめてできることはなにか」という課題について考えられるようにする。 【例】 ○家族みんなで団らんをして、楽しく過ごすために、どんなことができるかな。 ○妹と遊べる時間を見つけて、喜ばせるにはどうしたらいいかな。 ○近所をいつもきれいにしてくれているおばあちゃんに感謝の気持ちを伝えるにはどうしたらいいかな。 ○寒い中、通学路に立ってくれている地域の方に、卒業をする前に御礼の気持ちを伝えるにはどうしたらいいかな。
10	4 課題とテーマを設定する。(個人又はグループ) 児童がどのような課題を検討しそうか、予め予想し、挙げておくと、具体的な指導に生かすことができる。	○課題 家族にデザートを作ってみんなで団らんをしたい。 テーマ『うちカフェにようこそ！手作りデザートで、ごゆっくりどうぞ～』 ○課題 妹が上手に片づけられるおもちゃ箱を作って、一緒に片付けをしたい。 テーマ『一緒に片付けようね。私の作ったおもちゃ箱』 ○課題 隣のおばあちゃんと、一緒に近所の掃除をして、感謝の気持ちを伝えたい。 テーマ『隣のおばあちゃんに感謝！私も一緒にみんなの町を掃除します』 ○課題 通学路に立ってくれているPTAの方に、手作りのカイロ入れをプレゼントしたい。 テーマ『毎日見守ってくれてありがとう。あったかカイロ入れをプレゼント』
	5 5 本時のまとめをする。	・見方・考え方を働かせ、家族又は地域のために、今までの学習を生かしながら課題を設定できたことを確認し、発表させながら称賛する。 ・次時は、実践計画を立てることを確認する。
5	◇ 日常生活の中から問題を見いだし、課題を設定している。【思考・判断・表現】(ワークシート)	
	おおむね満足できる状況(B)	・日常生活の問題点から、どのようなことをしたら家族や地域の方が喜ぶかを考えて課題を設定し、ワークシートに記入している。 →家庭や地域の方々の様子を具体的に振り返らせたり、家庭や地域で自分にできそうなことについて、これまでの学習ノート等から考えさせたりする。
5	6 振り返りをする。	振り返り：児童一人一人が、この時間の学びが自分にとってどのような意味や価値があったか、学びのよさなどを実感し、内心や心情を表すことができるようにする。

「感性・思いやりなど」の個人内評価・・・家族や地域の方への思いやりの気持ちによる発言や記述等があった際には、よい点などを口頭や所見で積極的に伝えることが重要である。

#### 4 学習評価の具体例

<ワークシートの一部>

3 『家族又は地域のために』『心をこめて』『これまでで家庭科で学んだことや自分にできること』を考えながら、テーマを決めよう。

<「家族や地域ウォッチング」で気付いたこと、問題点など>  
地域のことを観察していたら、隣に住む一人暮らしのおばあちゃんが、毎日近所の掃除をしてくれていることを知った。一人での掃除は大変そうだ。

<選んだ理由や実践したいこと>  
おばあちゃんのお陰で、毎日気持ちよく学校に行くことができているので、感謝の気持ちを伝えたい。掃除の仕方は家庭科の授業でも勉強しているので、生かしたい。

<自分のテーマ>  
『隣のおばあちゃんに感謝！私も一緒にみんなの町を掃除します』

【思考・判断・表現】①  
※「十分満足できる」状況(A)と判断した児童の具体的な例

おばあちゃんのお陰で、毎日気持ちよく学校に行くことができているので、感謝の気持ちを伝えたい。掃除の仕方は家庭科の授業でも勉強しているので、生かしたい。また、おばあちゃん一人暮らしで少しさみしそうなので、掃除を一緒にすることを通して、色々話し、元気になってもらいたい。

地域を観察して、自分にできることに加え、地域の人々とのよりよい関わりについて考え、工夫する記述していることから、「おおむね満足できる」状況(B)を上回る「十分満足できる」状況(A)と判断した。

<「主体的に学習に取り組む態度」に関する教師の補助簿例> (Aと判断した理由を記入しておく)

氏名	○月○日( )	○月○日( )	○月○日( )	○月○日( )	○月○日( )	○月○日( )
○児	B	A ごはんとみそ汁の学習で身に付けたことを家庭で実践しようとして、家族の好みの実を調べた。			B	A様々なことが、自分でできるようになった喜びだけでなく、中学への期待を記入している。
△児	B	A 手縫いの小物作りで、玉どめ玉結びを何度も練習し最後まで仕上げている。	A 5年生で学んだことを、6年生で伸ばすための具体的な方法や生かす場面を多く挙げている。	A 家族との時間の大切さに気付くき、家庭で実践しようと、団らんするための具体的な方法を考えている。	B	A 家庭科を学んだことで、地域や家族に感謝の気持ちをもつことに加え、協力することの大切さを書いている。



＜事例2＞ 調理の仕方について理解し、適切に加熱操作ができるようにするために、  
指導と評価の工夫を図った事例  
第5学年「ゆでる調理にチャレンジ！」指導要領との関わり：内容B（2）ア(ア)(イ)(ウ)(エ)イ

1 本題材の計画の作成と評価及び改善の考え方

本題材の指導計画の作成に当たっては、初めての調理実習であることを考慮し、基礎的な理解を図るとともに、それらに係る基本的な技能を確実に習得できるように留意する。また、日常生活との関連をもたせ、実践的・体験的な学習活動を繰り返し行い、さらに活用する場面を設定して日常生活で生きて働く知識・技能が身に付くように工夫する。評価計画の作成に当たっては、基礎的な知識・技能が確実に習得できているか、重点指導項目を設定し見取るように留意する。題材の実施後は、ゆでる調理について、課題をもって基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、おいしく食べるために調理の仕方を考え、工夫することができているか見直し、改善を図る。

2 本時の学習指導と評価及び授業改善

本時の学習指導に当たっては、まず加熱用調理器具や調理用具の安全な取扱いをしっかりと身に付けさせる。食材は青菜・じゃがいもなどを扱い、実験や実習を通して食材によるゆで方の違いを理解できるようにする。評価に当たっては、技能の評価規準を明確にし、児童の技能の到達状況を明らかにできるようにする。授業の実施後は、児童の技能の習得状況を見取り、次の題材との連続性をもてるように改善を図る。

3 学習指導・評価の実際

- 1 題材名「ゆでる調理にチャレンジ！」 内容B（2）ア(ア)(イ)(ウ)(エ)イ
- 2 題材について (1) 児童について (2) 題材について (3) 指導について (省略)
- 3 題材の目標
  - (1) 調理に必要な材料の分量や手順が分かり、調理計画、用具や食器の安全で衛生的な取扱い及び加熱用調理器具の安全な取扱い、材料に応じた洗い方、ゆで方、調理に適した切り方、後片付けについて理解するとともに、それらに係る技能を身に付ける。〈知識及び技能〉
  - (2) おいしく食べるために調理計画や調理の仕方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。〈思考力、判断力、表現力等〉
  - (3) 家族の一員として、生活をよりよくしようと、調理の基礎について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。〈学びに向かう力、人間性等〉

4 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・調理に必要な材料の分量や手順が分かり、調理計画について理解している。</li> <li>・調理に必要な用具や食器の安全で衛生的な取扱い及び加熱調理器具の安全な取扱いについて理解しているとともに、適切に使用できる。</li> <li>・材料に応じた洗い方、調理に適した切り方、及び後片付けを理解しているとともに適切にできる。</li> <li>・材料に適したゆで方を理解しているとともに、適切にできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おいしく食べるために調理計画や調理の仕方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の一員として、生活をよりよくしようと、調理の基礎について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。</li> </ul>

5 題材の指導と評価の計画（8時間扱い）

小題材	時間	○ねらい・学習活動	評価規準・評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
クッキングははじめの一步	1・2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日常の調理に必要な技能とそのよさが分かる。</li> <li>・ガスこんろの安全な使い方</li> <li>・湯の沸かし方（沸騰について）</li> <li>・お茶の入れ方</li> <li>・調理の手順（準備・後片付け）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①調理に必要な用具や食器の安全で衛生的な取扱い及び加熱調理器具の安全な取扱い及び後片付けについて理解しているとともに、適切に使用できる。（ワークシート・行動観察）</li> </ul>		



工夫して、おいしいゆで野菜サラダを作ろう	3・4 (本時)	○野菜の食べる部分の違いや、食材によるゆで方の違いが分かり、ゆでることができる。 ・食材に合わせた洗い方 ・青菜とじゃがいものゆで方の違い	②材料に適したゆで方を理解しているとともに適切にできる。(ワークシート・行動観察・写真)	指導に生かす 評価	①調理の基礎について、課題の解決に向けて疑問をもち、分かるまで調理実験に主体的に取り組もうとしている。 (ポートフォリオ・行動観察)
	5	○包丁を安全に使い、いろいろな切り方やむき方をすることができる。 ・包丁の使い方 ・食材のいろいろな切り方、むき方	③材料に応じた洗い方、調理に適した切り方を理解しているとともに適切にできる。(ワークシート・行動観察)		
	6	○ゆで野菜サラダの調理計画を立てる。 ・今まで学んだことを生かして、ゆで野菜サラダの調理計画を立てる。	④ゆで野菜サラダの調理に必要な材料の分量や手順が分かり、調理計画について理解している。(調理計画・実践記録表)	①おいしく食べるために、調理計画や調理の仕方について問題を見い出して課題を設定している。(調理計画・実践記録表) ②おいしく食べるために、調理計画や調理の仕方について考え、工夫している。(調理計画・実践記録表)	②調理の基礎について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 (ポートフォリオ・調理計画・実践記録表・行動観察)
	7・8	○今までの学習を生かして、環境に配慮しながら、ゆで野菜サラダの調理を行う。 ・食材の分量 ・手際よさを考えた調理手順 ・味付け ・盛り付け ・後片付け  ○学習を振り返り、学習したことを生活にどのように生かすか考える。	②ゆで野菜サラダの材料に適したゆで方を理解しているとともに適切にできる。(行動観察・調理計画・実践記録表)	③おいしく食べるために、調理計画や調理の仕方について実践を評価したり、改善したりしている。(行動観察・調理計画・実践記録表) ④おいしく食べるために、調理計画や調理の仕方についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。(行動観察・調理計画・実践記録表)	③調理の基礎について、工夫し、実践しようとしている。 (ポートフォリオ・調理計画・実践記録表)

6 本時の学習指導 (本時 3・4 / 8)


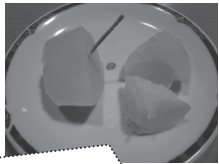
(1) 目標

- ・材料に適したゆで方を理解しているとともに適切にできる。〈知識及び技能〉
- ・調理の基礎について、課題の解決に向けて疑問をもち、分かるまで調理実験に主体的に取り組もうとする。〈学びに向かう力、人間性等〉

(2) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点 (・) 評価規準 (◇) 【評価の観点】(評価方法) 手立て (→)
10	1 身支度の確認をする。 2 ゆでる調理をした経験を基に、なぜゆでるのか、食材によってゆで方に違いがあるのか、どのように違うのかを考える。	・手洗い、身支度をペアで確認させ、教師が見届ける。 ・なぜ、ゆでるのか、児童に問いかける。 ・これまでのゆでる調理の経験から、食材によってゆで方は同じか、または違うのか、児童の考えをゆさぶる。

「なぜ、ゆでるのか」を考えられるようにすることにより、概念的な理解につなげる。

10	3	本時の学習の見直しをもつ。 ・学習課題の把握	・「おいしくゆではどうしたらよいのだろう」という思いを児童から引き出し、課題が設定できるようにする。
	4	調理実験の内容を確認し、予想を立てる。	学習課題 ほうれんそうとじゃがいもをおいしくゆでは、 どうしたらよいのだろう。
	5	調理実験を行う。 ・ゆでている時の野菜の様子を観察したり、硬さを確認したりする。	・ゆでる調理のポイントとして、「水からゆでる」、「沸騰した湯でゆでる」、「ゆでる時間」を挙げ、ほうれんそうとじゃがいもについて、ゆで方を変えながらゆでる調理実験を行うことを伝え、ゆで上がりの状態について確認させる。
20	6	試食をしながら、ほうれんそうとじゃがいもの適切なゆでる時間、ゆで方を話し合う。	・理科で学習した「沸騰」を想起させ、湯の沸騰した状態を確認する。 ・実験の流れが確認できるよう、黒板に示しておく。 ・じゃがいもの芽や緑化した部分には毒があるため、しっかり取り除くことについて留意する。 ・安全、衛生に気を付けて調理を行うことができるよう留意する。 ・調理実験を通して分かったことについて、児童の意見をまとめていく。 ・野菜には水からゆでるものと沸騰してからゆでるものがあること、ゆでることによりかさが減るものは、多くの量を食べることができることなどの調理の特性を理解できるようにする。 ・視覚的教材を視聴し、ほうれんそうとじゃがいもをおいしくゆでるための方法を確認する。
			ICTの効果的な活用：ゆで方を実際の映像で改めて確認する。
◇調理の基礎について、課題の解決に向けて疑問をもち、分かるまで調理実験に主体的に取り組もうとする。【主体的に学習に取り組む態度】(ポートフォリオ・行動観察)			
おおむね満足できる状況 (B)		野菜のゆで方の違いについて、課題の解決に向けて疑問をもち、分かるまで調理実験に主体的に取り組んでいる。 →調理実験の様子から、気づきを引き出す。	
◇材料に適したゆで方を理解しているとともに適切にできる。【知識・技能】(ワークシート・行動観察・写真)			
おおむね満足できる状況 (B)		野菜によってゆで方が違うことや、ゆで方が分かるとともに適切にできる。 →実験の結果を振り返り、確認をさせるようにする。	
10	7	後片付けをする。	
10	8	本時のまとめをする。	ほうれんそうは火が通りやすいので、ふつとうした湯で、短時間でゆでる。じゃがいものように硬い野菜は、火が通りにくいので、水から時間をかけて中まで火が通るようにゆでる。
	9	振り返りをする。	

P170 指導計画作成の留意事項(1)

P170 指導計画作成の留意事項(3):「沸騰」理科第4学年

【知識・技能②】※適切にできるか、写真から評価  
左：くしの中まですつと通る(おおむね満足できる状況(B))  
右：くしを刺すと、くずれる

#### 4 学習評価の具体例

<ワークシートの一部>

ほうれんそうとじゃがいもをおいしくゆでは、どうしたらよいのだろう

1 なぜ、ゆでるのだろう

---

3 ほうれんそうとじゃがいもを、ゆでて比べてみよう。

	水からゆでる	沸騰した湯からゆでる	食べやすいかたさになるまでの時間
ほうれんそう	様子記録	様子記録	分
じゃがいも	様子記録	様子記録	分

4 ほうれんそうとじゃがいものゆで方で、分かったことをまとめよう。

ほうれんそうは火が通りやすいので、ふつとうした湯で、短時間でゆでる。じゃがいものように硬い野菜は、火が通りにくいので、水から時間をかけて中まで火が通るようにゆでる。

【知識・技能②】  
※「十分満足できる」状況(A)と判断した児童の具体的な例

ほうれんそうは火が通りやすいので、ふつとうした湯に入れ、短時間でゆでる。ゆであがったらすぐに冷水に取る。水気をよくしぼり、切る。じゃがいものように硬い野菜は、火が通りにくいので、水から時間をかけて中まで火がとおるように、くずれないようにゆでる。竹ぐしで中まで柔らかくなったか確認する。均等に火が通るように、同じ大きさに切る。

野菜の特徴に合わせたゆで方について、具体的に記述している。また、ゆでる際の手順について一連の流れや理由を分かりやすく記述していることから、「おおむね満足できる」状況(B)を上回る「十分満足できる」状況(A)と判断した。

＜事例3＞ 教材・教具の工夫により基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、  
主体的に取り組むための指導と評価の事例  
第6学年「マイバッグを作って、使って楽しい毎日」指導要領との関わり：内容B(5)ア(ア)(イ)イ、C(2)イ

1 本題材の計画の作成と評価及び授業の考え方

内容B(5)についての指導計画の作成に当たっては、学習の効果を高めるため、2学年間を見通した学習が展開できるよう配慮する。児童の実態に応じて無理なく理解を深め、達成感を味わいながら技能を十分に身に付けることができるように段階的な題材の配列に配慮する。評価に当たっては、完成した作品の評価に終始するのではなく、児童が目的をもって縫い方を考えたり、見直して工夫したりするなど、一連の学習過程の中での指導と評価を一体化させ、資質・能力の育成を図る。

2 本時の学習指導と評価及び授業改善

本時の学習指導に当たっては、課題解決に向けて計画を立てたり、製作について評価・改善したりする際、グループや学級内で交流する活動を工夫し、児童が考えを広げ深めることができるように留意する。本時の評価に当たっては、授業の実施後は、「ゆとり」や「縫いしろ」の概念的理解が深まるための手立てについて見直し、改善を図る。

3 学習指導・評価の実際

- 1 題材名「マイバッグを作って、使って楽しい毎日」内容B(5)ア(ア)(イ)イ、C(2)イ
- 2 題材について (1) 児童について (2) 題材について (3) 指導について (省略)
- 3 題材の目標
  - (1) 製作に必要な材料や手順が分かり、製作計画、手縫いやミシン縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解するとともに、それらに係る技能を身に付ける。〈知識及び技能〉
  - (2) 生活を豊かにするための布を用いた物（マイバッグ）の製作計画や製作、環境に配慮した物の使い方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。〈思考力、判断力、表現力等〉
  - (3) 家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。  
〈学びに向かう力、人間性等〉

4 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>製作に必要な材料や手順が分かり、製作計画について理解している。</li> <li>手縫いやミシン縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解しているとともに、適切にできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活を豊かにするために布を用いた物の製作計画や製作、環境に配慮した物の使い方について問題を見いだして課題を設定し様々な解決方法を考え、実践評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。</li> </ul>

5 題材の指導と評価の計画（11時間扱い）

材小題	時間	○ねらい・学習活動	評価規準・評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
身の回りの袋の工夫を	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な袋に関心をもち、目的に応じた工夫に気付くことができる。</li> <li>生活で使用している袋を観察し、目的に応じてどのような工夫がされているか話し合いながら見付ける。</li> <li>目的に応じ、使わなくなった衣類等を活用したマイバッグのアイデアスケッチを描く。</li> </ul>	①製作に必要な材料や手順が分かり、製作計画について理解している。 (行動観察・製作計画・実践記録表)	①生活を豊かにするためのマイバッグの製作計画や製作、環境に配慮した物の使い方について問題を見だし、課題を設定している。(製作計画・実践記録表)	
目的の大きさを決めよう	2(本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>使う目的に合わせて、大きさや縫いしろ、ゆとりを考え、布を見積もることができる。</li> <li>新聞紙を使って試し作りをする。</li> <li>試し作りをしたバッグを展開し、布の大きさを決めるために必要なことについてグループで話し合う。</li> </ul>	②布の大きさを決めるために、縫いしろやゆとりを加えることの必要性が分かり、布を見積もることができる。 ・縫いしろ ・ゆとりの分量 ・布の見積り (行動観察・製作計画・実践記録表)		



マイバッグを作ろう	3	○マイバッグの製作計画を立てる。 ・バッグを観察し、製作の順番を考える。 ・製作計画を立てる。	①製作に必要な材料や手順が分かり、製作計画について理解している。 (行動観察・製作計画・実践記録表)	②生活を豊かにするためのマイバッグの製作計画や製作について、実践に向けた計画を考え、工夫している。(製作計画・実践記録表)	①生活を豊かにするためのマイバッグの製作について、課題の解決に向けて目的に合ったバッグにするために試行錯誤しながら、主体的に取り組もうとしている。 (ポートフォリオ・行動観察)  ②生活を豊かにするためのマイバッグの製作について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って実践しようとしている。 (ポートフォリオ・製作計画・実践記録表・行動観察)
	4	○布にしるしを付ける必要性を理解し、考えた長さで布にしるしを付けることができる。 ・しるしをつける。	③しるしを付けることの必要性を理解しているとともに適切にできる。(行動観察・製作計画・実践記録表)	③生活を豊かにするためのマイバッグの製作計画や製作、環境に配慮した物の使い方について実践を評価したり改善したりしている。 (製作計画・実践記録表)	
	5・6	○裁ちばさみの正しい使い方を確認し、安全に気を付けて、正確に布を裁つことができる。 ・布を裁つ。 ○布はしの始末について理解し、布を中表にして、袋のわきを縫うことができる。 ・わきを縫う。	④ミシン縫いによる目的に応じた縫い方、及び用具の安全な取扱いについて理解しているとともに、適切にできる。 ・布はしの始末 ・中表 (行動観察・製作計画・実践記録表)	作品の完成に終始するのではなく、布端の始末の必要性、ひもを丈夫に付けることの必要性など、「なぜそうするのか」を児童が考える場面を工夫し、丁寧に扱い、確実な理解を図る。	
	7・8	○布はしの始末について理解し、三つ折りにして袋の出し入れ口を縫うことができる。 ・出し入れ口を縫う。	⑤ミシン縫いによる目的に応じた縫い方、及び用具の安全な取扱いについて理解しているとともに、適切にできる。 ・三つ折り (行動観察・製作計画・実践記録表)		
	9・10	○丈夫にひもを付ける必要性を理解し、ひもを付け、仕上げるができる。 ・ひもを付ける ・仕上げる ○目的に応じて、ポケットを付けるなど自分なりの工夫を加える。	⑥ミシン縫いによる目的に応じた縫い方、及び用具の安全な取扱いについて理解しているとともに、適切にできる。 ・ひも付け (行動観察・製作計画・実践記録表)		
マイバッグを使ってみよう					
マイバッグ報告会を開こう	11	○マイバッグ報告会を開き、自分で製作したものを使う楽しさや製作への自信をもち、これからの生活に生かす工夫ができる。		④生活を豊かにするためのマイバッグの製作計画や製作、環境に配慮した実習材料の使い方についての課題解決に向けた一連の活動について考えたり分かりやすく表現したりしている。 (行動観察・ワークシート)	③生活を豊かにするためのマイバッグの製作で学んだことについて工夫し、実践しようとしている。 (ポートフォリオ・製作計画・実践記録表)

6 本時の学習指導 (本時 2・3 / 11)

(1) 目標

- ・布の大きさを決めることについて、でき上がりの寸法に縫いしろ分を加えたり、ゆとりの分量を考えたりする必要があることが分かり、その見積もりを理解している。(知識及び技能)

(2) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点 (・) 評価規準 (◇) 【評価の観点】(評価方法) 手立て (→)
5	1 前時に描いたマイバッグのデザインを思い出す。 2 必要な布の大きさは、どのように決めるのか、考える。 ・使いやすいマイバッグを考える。	・入れたい物に対し、ゆとりがなく、物の出し入れがしにくいバッグを提示し、目的に合ったマイバッグの大きさを決めるにはどうしたらよいか、問いかけ、児童の興味・関心を引き出す。  児童が見いだした問題から学習課題が設定できるよう、導入の工夫を図る。
15	3 本時の学習の見通しをもつ。 ・学習課題の把握 4 マイバッグの試し作りをする。 ・新聞紙を使って、大きさや形を確かめる。	学習課題 目的に合ったバッグを作るための布の大きさは、どのように決めたらよいのだろう  ・入れたい物を出し入れするなど、マイバッグを日常生活で使用する場面を想像しながら試し作りができるよう、声をかけていく。

15	5	グループで話し合い、クラスで共有する。 ・マイバックを展開してみる。 ・布の大きさを決めるために必要なことを考える。	(児童の発言) ・袋にするのだから、入れる物の2倍の大きさの布が必要だ。 ・入れる物よりも、少し大きな布で作ると、出し入れがしやすい。 ・布と布をつなぎ合わせるための「のりしろ」のような部分も必要だ。 ・バッグの口の部分も、布を内側に折りこまないといけないので、その分の布も必要だ。 ・入れるものが増えるかもしれないので、大きめに作りたい。
	6	必要な布の縦と横の長さを確認する。 ・必要な縫いしろとゆとりを加えた型紙を作成する。	P170 指導計画作成の留意事項(2) 話し合いの際に、机間指導において、ねらいに迫る気付きによる発言をしている児童を称賛する。
◇布の大きさを決めることについて、でき上がりの寸法に縫いしろ分を加えたり、ゆとりの分量を考えたりする必要があることが分かり、その見積もりを理解している。 【知識・技能】(行動観察・製作物・製作計画・実践記録表)			
おおむね満足できる状況(B)		・でき上がりの寸法に縫いしろ分及びゆとりの分量を加え、必要な布を見積もっている。 →でき上がりの寸法、縫いしろ・ゆとりの分量をそれぞれ確認しながら、縦と横の寸法を考えられるように支援する。	
5	7	本時のまとめをする。	目的に合ったバッグを作るための布の大きさは、「入れたい物の大きさの2倍」+「ゆとり」+「縫いしろ」を合わせ、縦と横の寸法を決める。
5	8	振り返りをする。	

#### 4 学習評価の具体例

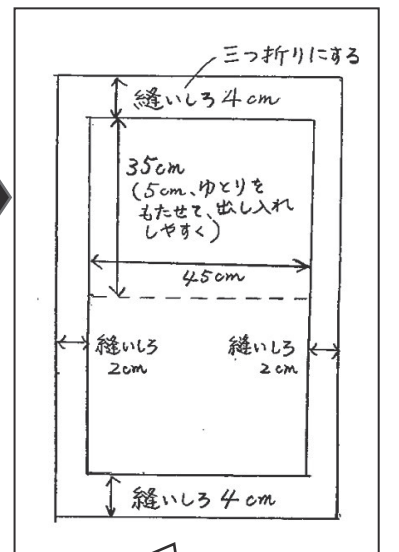
##### 【知識・技能】②(製作物)

※「十分満足できる」状況(A)と判断した児童の具体的な例


型紙に、ゆとりや縫いしろの説明を具体的に書き込んでいる。

布の大きさを記載するだけでなく、型紙にゆとりや縫いしろの大きさを決めた根拠も記述していることから、「おおむね満足できる」状況(B)を上回る「十分満足できる」状況(A)と判断した。

##### <製作物>



##### <製作計画・実践記録表の一部>

マイバックを作って、使って 楽しい毎日			
作る目的		環境を考えた“再利用”の工夫	
習い事(ピアノ教室)に行くときに使うマイバックを作りたい。最近、楽譜の本が増えたので、今までのバッグよりも大きいものが必要になった。		小さい頃に着ていた洋服を使って、ポケットを付ける。	
でき上がり図		材 料	
		○布：縦[78]cm×横[49]cm ○ミシン糸、手縫い糸 ○持ち手に使うひも ○小さい頃に着ていた洋服	
製作計画(手順) ※必要に応じて修正をしよう	学んだこと・できたこと 次がんばりたいこと	振り返り	
1 身の回りの袋の工夫を探る。	普段使っている袋に色々な工夫がされていることが分かった。次は、自分の目的に合わせた工夫を具体的に考えたい。	手作りだと、自分に必要な工夫が色々できるのがいいと思った。	
2 使う目的に合わせて、マイバックの布の大きさを決める。	目的に合うように、ゆとりや縫いしろをしっかりと考えて大きさを決めることができた。次は、マイバックを作る手順をよく考えて、計画を立てたい。	布の大きさを決めたので、布を選んだり、作ったりするのが楽しんできた。	

新聞紙で試し作りをしたマイバックを展開して広げ、模造紙等の上に置き、必要なゆとりと縫いしろを加えた型紙を作成することで、必要な布の縦と横の長さを確認する。

この部分の記載から、【主体的に学習に取り組む態度】として粘り強く製作に取り組んでいる様子や、自らの学習を調整しようとする様子を見取っていく。

＜事例4＞ 実験により科学的な理解を図るなどの活動を通し、課題解決力と実践的な態度を育成する事例  
 第6学年「快適な生活をしよう～夏をすっきり涼しく～」指導要領との関わり：内容B(4)ア(ア)(6)ア(ア)(イ)イカ

1 本題材の計画の作成と評価及び改善の考え方

本題材の指導計画の作成に当たっては、児童の夏の生活の中から課題を見付け、その課題を解決していくために住生活と衣生活の視点から必要な知識を身に付け、家庭生活で実践できるように留意する。評価計画の作成に当たっては、課題を解決するために自分の不快な生活に向き合う様子、夏を快適に過ごすための必要な知識の習得状況、学校や家庭での実践計画や実践の様子を記録するなど題材を通しての児童の変容を評価できるように留意する。題材の実施後は、夏を快適に過ごすための工夫ができていないか、指導計画を見直し、次年度に向けて指導の改善を図る。

2 本時の学習指導と評価及び授業改善

本時の学習指導に当たっては、音は、人の感じ方によって違うものであり、感じ方は個人差があることに留意する。本時の評価に当たっては、音の大きさを体感し、騒音計による測定結果から、自分の生活と音の関係を結び付け、音に関する理解を深められたかを評価をしていく。授業の実施後は、児童の音に対する生活実践について見直し、次時に向けて改善を図る。

3 学習指導・評価の実際

- 1 題材名「快適な生活をしよう～夏をすっきり涼しく～」内容B(4)ア(ア)(6)ア(ア)(イ)イカ
- 2 題材について (1) 児童について (2) 題材について (3) 指導について (省略)
- 3 題材の目標
  - (1) 住まいの働き、季節の変化に合わせた生活の大切さや住まい方、季節や状況に応じた日常着の快適な着方について理解している。(知識及び技能)
  - (2) 季節の変化に合わせた住まい方や快適な着方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。  
(思考力、判断力、表現力等)
  - (3) 家族の一員として、生活をよりよくしようと、快適な住まい方や快適な着方について、課題の解決に向け主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。  
(学びに向かう力、人間性等)
- 4 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・住まいの主な働きが分かり、季節の変化に合わせた生活の大切さや住まい方について理解している。</li> <li>・衣服の主な働きが分かり、季節や状況に応じた日常着の快適な着方について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節の変化に合わせた住まい方や快適な着方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の一員として、生活をよりよくしようと、快適な住まい方や快適な着方について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。</li> </ul>

5 題材の指導と評価の計画 (9時間扱い)

小題材	時間	○ねらい・学習活動	評価規準・評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
夏 の 住 まい 方 を 見 つ め よ う	1	○日常の住まい方を見つめ、住まいの働きを理解することができる。 ・日常の住まい方を見つめ、健康で安全に住まうことができているか話し合う。 ・夏の快適な住まい方について家で調べてくる。	①住まいの主な働きについて理解している。 (行動観察・ワークシート)		
	2	○夏を快適に住まうための問題を見だし、解決すべき課題を設定することができる。 ・家庭で調べてきたことを基に、夏を快適に住まうための方法について話し合い、夏を快適に住まう方法について追求する課題を設定する。	②季節の変化に合わせた生活の大切さについて理解している。 (行動観察・ワークシート)	①季節の変化に合わせた住まい方、日常着の快適な着方について問題を見いだして課題を設定している。 (行動観察・報告書・ワークシート)	①季節の変化に合わせた住まい方や日常着の快適な着方について課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 (行動観察・発言・ワークシート)
夏 を 快 適 に 過 ご そ う	4	○風通しについて理解する。 ・風通しに関する実験を行い、温度と湿度が下がることを理解する。 ・実際に窓を開け、効果的な窓の開け方を理解する。 ・確認テストにより、暑さへの対処の仕方を振り返る。	③季節の変化に合わせた住まい方について理解している。 ・暑さへの対処の仕方 (行動観察・確認テスト)	指導に生かす 評価	②季節の変化に合わせた住まい方、日常着の快適な着方について課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 (行動観察・ポートフォリオ)
	5	○夏の涼しい着方を理解する。 ・天気や目的に応じた着方について調べたり、話し合ったりして理解する。 ・確認テストにより、夏の快適な日常着の着方を振り返る。生活しやすい温度や湿度調べ、日差しを遮るなど環境に配慮した快適な住まい方について理解する。	④季節の変化に合わせた快適な着方について理解している。 ・夏の快適な日常着の着方 (行動観察・ワークシート)	指導に生かす 評価	

家庭



6 (本時)	○音と生活の関わりについて理解する。 ・身の回りにある音について調べ、音と生活の関わりについて理解する。	③季節の変化に合わせた住まい方（音と生活の関わり）について理解している。 ・音と生活の関わり（行動観察・ワークシート）	指導に生かす評価	
快適な夏のくらしを実践しよう	○校内を快適に過ごすための課題を見付け、それを解決するための方法を考える。 ・校内を快適に過ごすための実践計画を考える。 ・実践計画について実習のペアと意見交換し、実践計画を見直す。  ○実践計画に基づいて校内を快適にすることができる。 ・各自が実践計画に基づき実践を行う。 ・実践を振り返る。	②季節の変化に合わせた生活の大切さについて理解している。 (行動観察・実践計画) ③季節の変化に合わせた住まい方について理解している。 ・暑さへの対処の仕方 ・音と生活の関わり ・夏の快適な日常着の着方(行動観察・実践計画) ④季節の状況に応じた日常着の快適な着方について理解している。 (行動観察・実践計画)  記録に残す評価	②季節の変化に合わせた住まい方や日常着の快適な着方について、実践に向けての計画を考え、工夫している。 (行動観察・実践計画) ③季節の変化に合わせた住まい方や日常着の快適な着方について、実践を評価したり、改善したりしている。 (行動観察・発言・実践計画)	
9	○実践を振り返り、家庭での実践計画を立てる。 ・快適さを追求し、課題の解決に向けてこれまでに実習した結果について話し合ったり、考えたりしたことを発表したりする。 ・家庭での実践を想定し、実践計画を立てる。 ・作成した実践計画をペアやグループで意見交換し、見直す。	P170 指導計画作成の留意事項(5)	④季節の変化に合わせた住まい方や日常着の快適な着方についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。 (行動観察・発言・実践計画)	③季節の変化に合わせた住まい方、日常着の快適な着方についてよりよくしようと、工夫し、実践しようとしている。 (報告書・発表)

6 本時の学習指導（本時 6 / 9）

(1) 目標

- ・季節の変化に合わせた住まい方（音と生活の関わり）について理解する。（知識及び技能）

(2) 展開

P170 指導計画作成の留意事項(3):「光と音の性質」理科 第3学年

時間	学習活動	指導上の留意点(・) 評価規準(◇) 【評価の観点】(評価方法) 手立て(→)
5	1 生活の中の音にはどのようなものがあるのか考える。 2 本時の学習の見通しをもつ。 ・学習課題の把握	・生活の中にある音が想起できるように、録音した生活音や生活音のする場面写真を用意する。 課題が児童にとって身近なものとなるように学校生活の中から課題を設定する。 学習課題 音と生活のかかわりを考えながら、生活の中にはどんな音があるか調べ、私たちにできることをあげてみよう。
15	3 測定箇所の選定や予想を立てる。 4 校内の音を測定する。	・学校の中にある音について騒音計を使って調べ、音の大きさを調べるとともに、その音が快適か不快に聞こえるかも体感することを伝える。 ・測定をする前に校内のどこを測定するのか予想を立てさせ、その音が、快適か不快なのかも考えさせ、理由も書くようにする。
20	5 結果を発表し合い、自分達の測定結果を振り返る。	・グループで活動を行う。 ・班に1つホワイトボードを用意し、調べた結果を掲示できるようにする。 ・各班の発表から、自分たちの測定や体感と同じ結果だったもの、違う結果だったものを比べるように視点を与える。
◇季節の変化に合わせた住まい方（音と生活の関わり）について理解している。 【知識・技能】(行動観察・ワークシート)		
	おおむね満足できる状況(B)	・生活の中には様々な音があり、快適な音もあれば、不快に感じる音があることに気付いている。 →風鈴など具体物を用意し、録音した生活音を聞き、自分はどう感じるのか確認をし、友達の結果を参考に音と生活の関わりを理解できるようにする。
5	6 本時のまとめをする。	本時の音と生活の関わりについての理解は、指導に生かす評価とする。 まとめ 生活の中には、快適な音や不快な音がある。家族や地域のことを考えて、生活音の発生に気を付ける必要がある。
	7 振り返りをする。	

## 4 学習評価の具体例

### < 4時間目 確認テストの一部 > (A児)

問題

下図の部屋で過ごしているAさんは、暑くて困っています。夏の暑い季節を快適に過ごすためにはどうしたらよいか、理由とともにAさんに説明しましょう。

Aさんへの説明

カーテンを開けて、本だなを別の場所に移動させて、窓を開けると、風が通るようになるので涼しくなるとおもいます。

#### 【知識・技能】③

※「十分満足できる」状況 (A) と判断した児童の具体的な例

カーテンを開けて、本だなを別の場所に移動させて、窓を開けると、風が通るようになるので涼しくなるとおもいます。外の生活道路やコンクリートに打ち水をまいたり、窓にグリーンカーテンや“よしず”を設置すると、外の空気が冷やされて涼しい空気が部屋の中に入ってくるので涼しくなるとおもいます。

季節の変化に合わせた住まい方として、風通しをよくするための方法とその理由に加え、部屋が涼しくなるための家の外の工夫についても具体的に複数記述をしているので、「おおむね満足できる」状況 (B) を上回る「十分満足できる」状況 (A) と判断した。

### < 6時間目 ワークシートの一部 > (A児)

音と生活との関わりを考えながら、生活の中にはどんな音があるか調べ、私たちにできることをあげてみよう。

○私たちの生活の中には、どんな音があるだろう。

・話し声 ・動物の鳴き声 ・車や電車の音 ・風鈴の音 ・工事の音

○学校の中の音を調べてみよう。

場所	音の大きさ・聞こえてくる音・感じ方
廊下	80 db ピアノの音 きれいな音色だけど、勉強するときは集中しにくいかなと思った。
校庭	60 db 車の音 少しうるさく感じた。
教室	45 db あまり音が聞こえない 勉強に集中できそう。

○音を調べて分かったこと、音と生活との関わりで思ったこと、できそうなこと

生活の中には、快適と感じる音や不快に感じる音など、色々な音があることが分かりました。周りの人のことを考えて生活していくことで、お互いが快適に過ごせるとおもいました。

#### 【知識・技能】③

※「十分満足できる」状況 (A) と判断した児童の具体的な例

生活の中には、快適と感じる音や不快に感じる音など、色々な音があることが分かりました。周りの人のことを考えて生活していくことで、お互いが快適に過ごせるとおもいました。私は普段ピアノを弾くことが多いので、今後は家族や近所のことを考えて、弾く時間を考えていきたいとおもいます。

音の学習で、快適な音や不快に感じる音があることに気づき、生活の中で工夫して生活しようとしている具体的な記述がみられるので、「おおむね満足できる」状況 (B) を上回る「十分満足できる」状況 (A) と判断した。

### < ポートフォリオ (学びの足あと) の一部 > (A児)

学習した日	学んだことできるようになったこと	自己評価 (◎○△)		次の学習に向けてがんばること
		◎や△の理由		
○月○日 (7・8時間目)	暑い夏を過ごすためには、日差しを遮ったり、風通しをよくしたり、涼しい着方をすることが大切。また、音も夏を涼しく住まうために活用できる。すだれを使って、日差しを遮ったり、窓を対角線に開けたり、首回りや袖周りの広い服を着たりすると涼しく過ごすことができました。	自己評価 △	カーテンを利用して日差しを遮りましたが、真夏の日差しは強くて、思ったより涼しくなりませんでした。	カーテンではなく、グリーンカーテンを利用したいと思うので、理科の授業でグリーンカーテンの作り方を調べようと思います。 できたらチェック!

#### 【主体的に学習に取り組む態度】①

※「十分満足できる」状況 (A) と判断した児童の具体的な例

真夏の日差しを遮るために、グリーンカーテンを活用したいので、グリーンカーテンを作った先生や校務員さんに作り方を聞いたり、グリーンカーテン周辺の温度を調べたい。

暑い夏を涼しく快適に過ごすために、日差しの強さにも着目し、日差しの遮り方を粘り強く追求しようとしていることから、「おおむね満足できる」状況 (B) を上回る「十分満足できる」状況 (A) と判断した。

**<事例5> 自立した消費者を育成するための基礎を学習し、中学校の学習内容へつなげる事例  
第5学年「生活を支えるお金と物」指導要領との関わり：内容C (1) アイ (2) アイ**

**1 本題材の計画の作成と評価及び改善の考え方**

本題材の指導計画の作成に当たっては、児童が課題をもって、持続可能な社会の構築に向けて身近な消費生活と環境について考え、工夫する活動を通して、身近な消費生活と環境をよくしようと実践することができるように留意する。内容の指導に当たっては、A (3)やB (2)、(5)及び(6)などと関連を図り、生活で使う身近な物などを取り上げ、児童や家族の生活と結び付けて考え、実践的に学習できるように配慮する。評価計画の作成に当たっては、基礎的・基本的な知識及び技能の評価が、その後の身近な物の選び方や買い方の工夫の指導に生かすことができるように留意する。題材の実施後は、身近な消費生活と環境をよりよくしようと工夫する実践的な態度が育成されているか、児童の姿について見直し、授業改善を図る。

**2 本時の学習指導と評価及び授業改善**

本時の学習指導に当たっては、現金による店頭での買物を扱い、日常行っている買物が売買契約であること、売買契約の基礎を理解し、買物についての課題意識がもてるよう留意する。本時の評価に当たっては、売買契約について分かり、金銭の使い方について理解しているかワークシートと確認テストから評価していく。授業の実施後は、児童が自分の生活を振り返り、金銭の使い方について見直しできているかを児童のワークシートから見取り、次時に向けて改善を図る。

**3 学習指導・評価の実際**

- 1 題材名「生活を支えるお金と物」内容C (1) アイ (2) アイ
- 2 題材について (1) 児童について (2) 題材について (3) 指導について (省略)
- 3 題材の目標
  - (1) 買物の仕組みや消費者の役割が分かり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解する。また、身近な物の選び方、買い方を理解し、購入するために必要な情報の収集・整理が適切にできる。〈知識及び技能〉
  - (2) 購入に必要な情報を活用し、身近な物の選び方、買い方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。〈思考力、判断力、表現力等〉
  - (3) 家族の一員として、生活をよりよくしようと、物や金銭の使い方と買物について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返ったりして、生活を工夫し、実践しようとする。〈学びに向かう力、人間性等〉
- 4 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>買物の仕組みや消費者の役割が分かり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解している。</li> <li>身近な物の選び方、買い方を理解するとともに、購入するために必要な情報の収集・整理が適切にできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な物の選び方、買い方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族の一員として、生活をよりよくしようと、物や金銭の使い方と買物について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。</li> </ul>

5 題材の指導と評価の計画 (5時間扱い)

小題材	時間	○ねらい ・学習活動	評価規準・評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
お金の使い方を 見つめよう	1 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○買物の仕組みが分かり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解する。</li> <li>・自分の消費生活を振り返って課題意識をもつ。</li> <li>・売買契約について知る。</li> <li>・物や金銭の使い方について考える。</li> </ul>	①買物の仕組みが分かり、適切な消費行動をとる必要があることに気付くことができる。 (ワークシート・確認テスト)	①身近な物の選び方、買い方について問題を見いだして課題を設定している。 (ワークシート)	P170 指導計画作成の留意事項 (3) 「地域に見られる生産や販売の仕事」：社会科 第3学年
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○消費者の役割が分かり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解する。</li> <li>・金銭が使われている場面について考える。</li> <li>・環境に配慮した買い方や物の使い方について考える。</li> <li>・自分の生活を振り返り、消費生活に関わる自分の課題について考える。</li> </ul>	②消費者の役割が分かり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解している。 (ワークシート)	①家族の一員として生活をよりよくしようと、物や金銭の使い方と買物について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 (ワークシート) (行動観察)	
計画的に 買物しよう	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身近な物の選び方、買い方を理解し、購入するために必要な情報の収集・整理が適切にできるようにする。</li> <li>・鉛筆を買うシミュレーションをする。</li> <li>・予算、目的を確認し、自分に合った筆箱を選ぶ。</li> </ul>	③身近な物の選び方、買い方を理解するとともに、購入するために必要な情報の収集・整理が適切にできる。 (ワークシート)	②身近な物の選び方、買い方について問題を見いだして課題を設定している。 (ワークシート)	

環境に配慮した買物ができるように、マークの学習をしたり、必要な分だけ購入できるような選択肢を作ったりして工夫する。



計画的に買物しよう	4	○これまでの学習を振り返り、家庭での実践計画を立てる。 ・林間学校で使う物から、購入が必要なものについて、家庭で調べたことについて購入の計画を立てる。	購入したものを全体で振り返ることができるように、調理実習の材料や裁縫の材料を購入する計画を立てる活動も考えられる。	②身近な物の選び方、買い方について、実践に向けた計画を考え、工夫している。(実践計画)	②家族の一員として生活をよりよくしようと、物や金銭の使い方と買物について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。
	5	○家庭実践の報告会をし、よりよい買物ができるようにする。 ・本当に必要かどうか、購入後に適切に活用しているか、環境に配慮できているかなどを評価し、改善点を考える。		③身近な物の選び方、買い方について、実践を評価したり、改善したりしている。(実践計画) ④身近な物の選び方、買い方についての課題解決に向けた一連の活動について考えたことを分かりやすく表現するなどしている。(ワークシート)	③家族の一員として、生活をよりよくしようと、物や金銭の使い方と買物について工夫し、実践しようとしている。(ワークシート) (行動観察)

6 本時の学習指導 (本時 1 / 5)

(1) 目標

- ・買物の仕組みや契約について理解し、適切な消費行動をとる必要があることに気付くことができる。(知識及び技能)

(2) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点 (・) 評価規準 (◇) 【評価の観点】(評価方法) 手立て (→)
5	1 買物について振り返る。	・自分の買物の様子やお金の使い方について、想起する。 ・必要ないのに買ってしまったり、よく考えずに買物をして困ったりした経験を想起し、本題材への課題意識がもてるようにする。
2	2 本時の学習の見通しをもつ。 ・学習課題の把握	学習課題 どのようにしたら上手にお金を使えるようになるだろうか ～買物の仕組みを知って、お金の使い方を考えよう～
3	3 消費と消費者について知る。	・お金を払って、商品を買ったり、買ったものを使ったりすることを消費といい、消費する人のことを消費者ということが理解できるようにする。
5	4 クイズをして、契約について知る。 ・契約のイメージを発表する。 ・契約クイズをする。消費者として契約していると思うものを考える。 ・契約について知る。	・契約のイメージを発表する際には、契約書や押印が必要という意見が出るが、イメージなので、そのままクイズに進むようにし、イメージとの差に気付くようにする。 ・クイズの選択肢には、以下のような購入金額が大きい物から児童全員が買ったことがあるような物まで入れ、自分達も契約しているという実感がもてるようにする。 ①家を買う ②車を買う ③ゲームを買う ④おかしを買う ・自分の買物の様子を想起しながら、買物の仕方についてロールプレイングを行い、売買契約の仕組みについて理解できるようにする。ロールプレイングは、店頭での買物を取扱い、店の人と買う人に分かれ、実際の買物の様子を再現しながら以下の点について理解できるようにする。 〔 ・買う人と売る人の合意で売買契約が成り立っていること。 ・買う人はお金を支払い、売る人は商品を渡す義務があること。 ・買った後は一方的な理由で返品することができないこと。 〕
15	5 ロールプレイングを通して、売買契約のしくみについて知る。	・買物で困ったことがあれば、消費生活センターなどの相談機関を利用することも伝える。

《ロールプレイング例》 登場人物：太郎 (小学生の男の子)、父、母、店員 (電気店)

太郎は、電子ゲームが大好きな小学5年生の男の子です。チラシを見て、近くの電気店でゲームソフトのセールをしていると知り、お父さんと一緒に電気店にゲームソフトを買いに行くことにしました。

太郎：お父さん、これこれ！このゲームソフトが欲しかったんだよ。  
父：太郎が貯めたお年玉で、買えるかな？  
太郎：大丈夫だよ。買えるよ。  
店員：今日は、人気のゲームソフトのセールの最終日なので、2本買うと1,000円さらにお安くしますよ。  
★あなたなら、どうしますか？ 2本買う？1本だけにしますか？

太郎は、欲しかったゲームソフトを1本買って家に帰りました。すると、母がチラシを持ってきました。

母：太郎が買って来たゲームソフトが、このおもちゃ屋さんで安く売っているよ。  
太郎：え？電気屋よりも1,000円安い！もう買っちゃったのに・・・。  
★あなたなら、どうしますか？ 電気店に返却して、おもちゃ屋さんで買い直す？それともあきらめる？

太郎は、おもちゃ屋さんで安くなっていたのを知って、電気店にゲームソフトを返しに行くことにしました。

太郎：さっき買った、このゲームソフトなのですが・・・、返却をしたいのですが・・・。  
店員：それは困りましたね。ゲームソフトの返却は、お断りしているんですよ。  
太郎：まだ開けていないですよ。だめですか？友達は、他のお店では返却してくれたと言っていたのですが・・・。  
店員：それは、そのお店がサービスしてくれたのだと思いますよ。基本的には、お客さんが商品を受け取った後は、買った方の一時的な理由で商品を返却することはできないんですよ。  
太郎：(肩を落とす・・・)

7	6 これからの買物について考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者としての自覚をもち、買う前によく考え、適切な消費行動をとる必要があることに気付くようにする。</li> <li>・売買契約について知った上で、今後どのように買物していけばよいか考えることができるようにする。</li> </ul>
	◇買物の仕組みや契約について理解し、適切な消費行動をとる必要があることに気付いている。 【知識・技能】(ワークシート)	
	おおむね満足できる状況(B)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買物の仕組みを知り、買う前によく考えて買物することや計画的に買物することが大切であることに気付いている。</li> <li>→買物の仕組みを振り返り、よりよい買物をするためにどのようなことができるか考えるよう助言する。</li> </ul>
5	7 本時のまとめをする。	私たちが普段行っている買物は、「契約」である。上手にお金を使うには、買う前に、よく考えて、計画的に買物することが大切である。
3	8 振り返りをする。	

#### 4 学習評価の具体例

##### <ワークシートの一部>

《ロールプレイングを行って》

○太郎の気持ちを考えながら、下のことについて答えてみよう。

★あなたなら、どうしますか？ 2本買う？ 1本だけにする？その理由は？

★あなたなら、どうしますか？ 電器店に返却して、おもちゃ屋さんで買い直す？ それともあきらめる？その理由は？

○買物の仕組みについて分かったことはどんなことですか。また、これから上手に買物をするために気を付けたいことはどんなことですか？

どんな買物でも、全て契約だということが分かりました。これまでは、お菓子など、あまり何も考えずに買っていただけで、これからは、買う前に、よく考えて、計画的に買物をしたいと思いました。

【知識・技能】①

※「十分満足できる」状況(A)と判断した児童の具体的な例

どんな買物でも、全て契約だということが分かりました。これまでは文房具などを買うときに、あまり深く考えていなかったけれど、まずは家にあるものかどうか、本当に必要かを考えて、値段もよく調べたり比べたりして、計画的に買物をしたいと思いました。返品できるのは、お店のサービスだということを知りました。

買物の仕組みを知り、買う前によく考えて買物することや計画的に買物することが大切であることに気付いている。さらに、自分の生活を想起し、具体的な記述があることから、「おおむね満足できる」状況(B)を上回る「十分満足できる」状況(A)と判断した。

##### <確認テストの一部>

《買物の仕組み》

①下のどの場面で「契約」は成立しているでしょうか

A：買う物を決める。  
B：レジに行く  
C：お金を払う  
D：商品とレシートを受け取る

⇒ 答え D

②①で答えた理由を書きましょう。

買う人が買う意思を表し、売る人が売る意思を表していて、お互いの意思が合った時がDだから。

③上手な買物をするために大切なことはどのようなことですか。

一度買った物は、買った人の一方的な理由で返却できないので、買う前に必要かをよく考え、買いたい物のことをよく調べることが大切。

【知識・技能】①

※「おおむね満足できる」状況(B)

買物の仕組み(契約)を理解し、買う前によく考えて買うことや計画的に買物をする大切であると気付いている。

## 第4 家庭科における学習評価の評定への総括例

### 1 題材終了時の観点別学習状況の評価の例

1 単位時間の学習評価を基に、三つの観点ごとに題材の観点別学習状況の評価を出す。その際、1 単位時間ごとの評価は、学習指導要領の示す教科の目標に準拠した適切な評価を行うことが基本となるが、児童のよい点や進歩の状況を把握し、評価することも大切である。

総括する際に、観点別評価をどのように判断するかについては、あらかじめ判断の方法や手順を決めておく必要がある。

### <事例2 題材名「ゆでる調理にチャレンジ!」(8時間扱い) より>

#### 本題材における児童の観点別学習状況の評価

題材の評価規準	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				題材の総括	
	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④		
学習活動に即した評価規準	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④		
指導項目	ア(イ)	ア(エ)	ア(ウ)	ア(ア)	観点ごとの総括				観点ごとの総括					
児童名	日付	日付	日付	日付	観点ごとの総括				観点ごとの総括					
〇〇〇	B	A	A	A	A	A	A	B	A	B	B	A	B	A
△△△	A	B	B	B	B	A	B	A	B	B	B	B	B	B
◇◇◇	C	C	C	C	C	C	B	C	C	C	B	C	B	C

児童：〇〇〇児  
 【知識・技能】 A  
 【思考・判断・表現】 A  
 【主体的に学習に取り組む態度】 B  
 題材の総括 A

児童：△△△児  
 【知識・技能】 B  
 【思考・判断・表現】 B  
 【主体的に学習に取り組む態度】 B  
 題材の総括 B

児童：◇◇◇児  
 【知識・技能】 C  
 【思考・判断・表現】 C  
 【主体的に学習に取り組む態度】 B  
 題材の総括 C

この他にも、題材における観点別評価の総括については様々な考え方や方法があり、各学校において工夫することが望まれる。

### 2 学期末・学年末の観点別学習状況の評価及び評定への総括の例

#### (1) 学期末の観点別学習状況の評価

学期末には、題材ごとの観点別の評価を総括し、三つの観点別学習状況の評価を出す。

<埼玉県小学校教育課程編成要領(H30) P128 第5学年(60時間)より 参考>

題材名	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				学期末	学年末						
	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④								
わくわく家庭科スタート!	見つけてみよう! 手ぬい	ゆでる調理にチャレンジ!	身に付けよう! 手ぬい	身に付けよう! ミシンぬい	冬休みはおまかせ	食べて元気にザ・和食!	できるようになったよ家庭の仕事	学年末	学年末	わくわく家庭科スタート!	見つけてみよう! 手ぬい	ゆでる調理にチャレンジ!	身に付けよう! 手ぬい	身に付けよう! ミシンぬい	冬休みはおまかせ	食べて元気にザ・和食!	できるようになったよ家庭の仕事	学期末	学年末	
〇	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
△	B	A	A	A	A	A	A	A	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A
◇	B	C	C	C	C	C	C	C	C	B	B	C	B	C	B	C	B	B	B	C

#### (2) 学年末の観点別学習状況の評価及び評定への総括

学年末には各学期の観点別の評価を総括し、三つの観点別学習状況の評価を出す。評定は「ABCの数」や「ABCを点数化した数値」等でも出すこともできる。その際、学習指導要領の示す教科の目標に準拠した評価となっているか確認する。また、観点別学習状況の評価や評定に示しきれない家庭科に関わる感性や思いやりなどについては、個人内評価として児童一人一人のよい点や可能性、進歩の状況などを、教師による授業中の声かけや、ワークシートへの記述などを通して評価する。

家庭